

Casting  Our Eyes
on the Future

視線はまっすぐ未来へ



Financial Report

第94期中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日



Ahresty

株式会社 アーレスティ

証券コード：5852

Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

タグライン「Casting Our Eyes on the Future」は、その社名に込められた企業理念を実現すべく、アーレスティで働く者すべての視線が、常にお客様、地球環境、そしてアーレスティ自身の未来へ向けられ、Research (研究・開発)、Service (サービス)、Technology (技術) において常に主導的リーダーに立ち前進しようという企業姿勢を具現化したものです。

なお、“Casting”は、“投げかける”という意味の他に、当社の主要事業である“Die Casting”の意味も込めています。

タグライン：タグラインは、アーレスティブランド、企業理念を社内外へ発信する究極的なメッセージであり、コーポレートシンボルとセットで使われる言葉です。

製品別概要

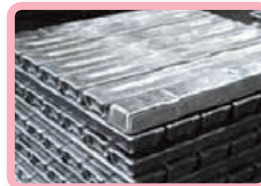


ダイカスト事業

高い技術を駆使し、自動車のエンジン、足回り、ボディなどのダイカスト製品を製造・販売しています。

アルミニウム事業

缶、サッシ、自動車スクラップなど、多様な原料をもとに、高品質のアルミニウム合金地金を製造・販売しています。



完成品事業

コンピュータールーム、クリーンルームなどの建築用床材料等を製造・販売しています。



(a:resti)

これからは、より質の高い
 Research、Service、Technologyを
 追求していきます。

アーレスティはR・S・T、Research、Service、Technologyこれらの三つの言葉の統合ですが、Rは単に研究・開発だけでなく、どうしたらもっとお客様のお役に立てるかの創意と探求、Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、お客様とのすべての接点で、そしてTはこのRとSをささえる知識と技術を考えています。この社名に込められた企業理念を大切に生かし、様々な製品を通して、広く社会のお役に立ちたいと願っております。

CONTENTS

株主の皆様へ	2
経営基本方針	3
コンプライアンス基本方針	4
環境方針	4
事業の概況	5
事業別の概況	6
四半期連結財務諸表	7~8
トピックス	9
株式情報・会社の概要・株主メモ	10

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第94期第2四半期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の事業の概要につきまして、ご報告いたします。

当第2四半期の業績は、主にアメリカ工場の生産性低下により期初の業績予想を大きく下回り純損失となりました。株主の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をお掛けし誠に申し訳ございません。

アメリカ工場を早期に改善し業績を回復させるとともに、事業の発展に全力を尽くしてまいり所存です。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月



代表取締役社長

高橋 新

経営
基本方針

常に生きいきと活動し理論と実験と創意と工夫を尊重して、
品質のすぐれた製品と行き届いたサービスを提供しよう

(1) 経営の基本方針

当社の社名アーレスティは、ResearchのR、ServiceのS、TechnologyのTを続けて読んだものであります。Researchとは絶えることのない新技術・新市場・新しい販売方法の開発・研究調査、Serviceとは人と人とのふれあいのなかで本当に行き届いた温かいサービス、Technologyとは世の中に役立つ真によいものをハードとソフトも含めて創ってゆく技術を意味します。このRとSとTは、お互いに深く支え合いながら、お互いをよりすばらしいものへと磨きあっていくという有機的な関係にあります。私たちは、このような考えのもとにResearch、Service、Technologyを統合した思想を企業理念として「アーレスティ」を社名としております。

当社の長期的な経営の方向性を示した「アーレスティ10年ビジョン」では「ダイカストを核としたグローバルTOP企業」となることを基本方針に、「ものづくりを究め、ものづくりを

進化させる」ことをスローガンとしてあるべき姿を描き、具体的な指針・手段として方針を定めております。

この10年ビジョンをベースに中期経営方針では、より具体的な施策・目標値を設定し、さらに部門方針へと展開して全社的な活動を推進しております。なお2016年度の目標値は、売上高：1,430億円、売上高営業利益率：5%、総資産当期純利益率：3%、株主資本当期純利益率：7%としております。

(2) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主をはじめとするすべてのステークホルダーに対する経営責任と説明責任を明確にするとともに、高い透明性を伴った経営体制を確立することで、当社グループ全体での収益力の拡大と企業価値の増大を目指しております。さらには内部統制システムとリスク管理体制を充実させ、グルー

プ子会社の事業活動についても管理・監督を行う経営システムの構築を図ることをコーポレート・ガバナンスの基本的な方針と考え、重要な経営課題であると認識しております。

コンプライアンス基本方針

株式会社アーレスティは、コンプライアンスの基準として、この基本方針を制定し役員及び従業員は、自らの行動又は業務遂行のための行動において、これを遵守します。

- 1 私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。
- 2 私たちは、お客様の安心・信頼を念頭に置き、あらゆる法令を遵守し、高い倫理観と責任感を持って行動をします。
- 3 私たちは、公正で透明な取引関係を構築し、健全な事業を行います。
- 4 私たちは、継続的な企業価値の増大を追求し、魅力ある企業を目指します。
- 5 私たちは、お互いに人格・価値観を尊重し、健康かつ安全な職場環境を目指します。
- 6 私たちは、会社財産を保護し、適正に取り扱います。
- 7 私たちは、全ての利害関係者から不信を招くことがないように、健全かつ正常な関係を維持・確立します。
- 8 私たちは、地球環境への配慮を会社の重点課題として認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動します。
- 9 私たちは、グローバルな視野を持って、地域の文化や習慣を尊重し、社会への貢献に向けて行動します。
- 10 私たちは、企業市民として広く社会とのコミュニケーションを行い、地域の発展と快適で安全な生活のための活動に協力し、地域社会との共生を目指します。
- 11 私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体に対しては、毅然とした態度をもって対応し、不当な要求や取引の要請等は断固として排除します。

環境方針

かけがえのない地球を守るのは私たちの大切な役割です。株式会社アーレスティの環境への取組みをご紹介します。

- 1 私たちは私たちの開発、生産、販売、廃棄の活動が地球環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、環境目的・目標・実施計画を定め、それらを必要に応じて見直し、環境保全活動の継続的な改善をはかります。
- 2 私たちは国・地方公共団体・利害関係者などの環境規制、規則、協定などの要求事項を順守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取組みます。
- 3 私たちは特に次の事項について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取組みます。
 - ①大気汚染、水質汚濁に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
 - ②廃棄物の再資源化100%を維持します。
 - ③廃棄物総排出量の減量、アルミリサイクル事業の拡大を推進し、循環型社会へ貢献します。
 - ④CO₂排出の抑制をはかり、地球温暖化防止への配慮をします。
 - ⑤環境に配慮した製品及び商品の開発・設計に取組みます。
- 4 私たちは従業員一人ひとりの環境保護意識の向上をはかるため、教育・啓蒙活動を継続的にを行います。
- 5 私たちは良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。

～私たちはこの環境方針を社内外を問わずに公表いたします～

事業の概況

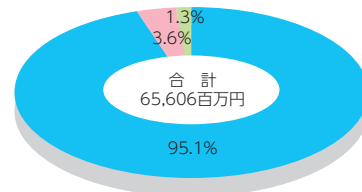
Financial Highlights

■企業集団の事業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から個人消費や生産活動は弱いものの、全体としては緩やかながらも回復基調が続いています。海外においては、アメリカでは景気は回復しており、アジアでは中国の景気の拡大テンポが緩やかになっており、インドの景気も底ばい状態から持ち直しの動きがみられるなど、世界の景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しています。

このような環境の中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高65,606百万円（前年同四半期比12.9%増）、営業利益478百万円（前年同四半期比44.1%減）、経常利益45百万円（前年同四半期比94.2%減）、四半期純損失107百万円（前年同四半期は四半期純利益2,428百万円）となりました。

■事業別売上の状況

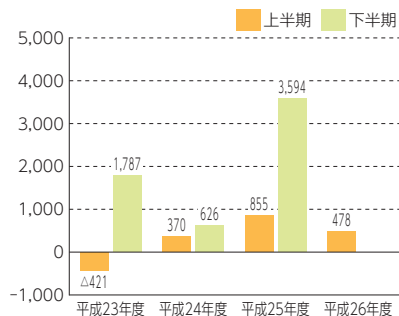


ダイカスト	62,390百万円
アルミニウム	2,345百万円
完成品	869百万円

■業績の推移 (連結)

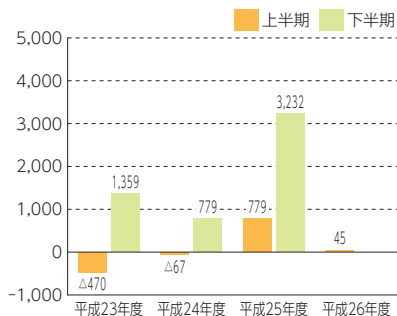
■営業利益

(単位:百万円)



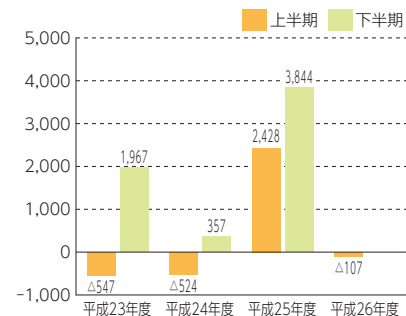
■経常利益

(単位:百万円)



■四半期純利益

(単位:百万円)



事業別の概況

Financial Highlights

ダイカスト事業

① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、消費税率引上げの影響が国内販売市場に及んでいるものの、北米市場向けを中心とした輸出が好調を維持しております。当社においてもこれらの影響を受け、受注量はほぼ前年同四半期と同水準であるものの主に地金市況の高騰影響等により、売上高は30,348百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。収益面においては、製造変動費の低減を進めるも減価償却費の増加及び賃上げに伴う労務費の増加等によりセグメント利益は1,120百万円（前年同四半期比17.2%減）となりました。

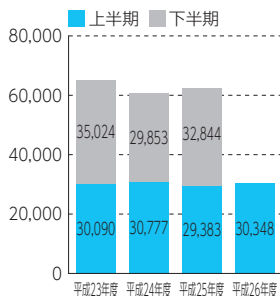
② ダイカスト事業 北米

北米では、アメリカでの好調な自動車販売の影響を受けた受注の増加、部品の新規立ち上がりなどに加え、円安基調にある為替換算の影響により売上高は19,063百万円（前年同四半期比24.3%増）となりました。収益面においては、アメリカでの前年第3四半期からの急激な生産増加への対応遅れに伴う生産性低下等の影響により、セグメント損失は608百万円（前年同四半期はセグメント損失25百万円）となりました。アメリカ工場の収益改善を図るべく、8月からプロジェクト活動を開始し、日本からの技術者派遣等の支援を含めて、生産性向上のための施策並びに現地作業者の技能レベル向上のための育成システムの見直し等の施策を実施しております。これら施策により生産性を改善し、今期末には単月黒字化を図り、来期には通期での黒字化を達成できるよう実施してまいります。

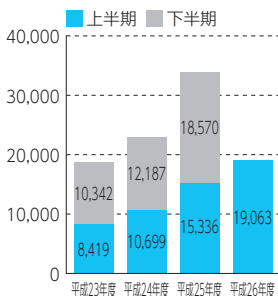
③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、日中関係の動向を受けて減少した自動車生産が回復したことに加え、円安基調にある為替換算の影響により、当社においても前年第4四半期の水準に満たないものの売上が増加しました。この結果、アジアでの売上高は12,979百万円（前年同四半期比27.7%増）となりました。収益面においては、中国合肥工場の黒字化、増収による増益効果等により、セグメント利益は67百万円（前年同四半期はセグメント損失496百万円）となりました。

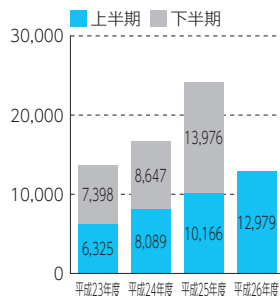
■売上高 日本(連結) (単位:百万円)



■売上高 北米(連結) (単位:百万円)



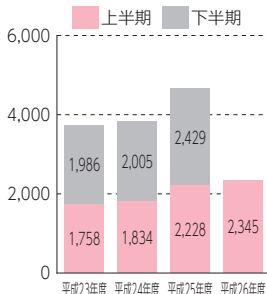
■売上高 アジア(連結) (単位:百万円)



アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、受注量が前年同四半期比でほぼ横ばいに推移したものの、販売価格が上昇したことにより売上高は2,345百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。収益面においては、使用原材料の高騰等の影響により、セグメント損失は33百万円（前年同四半期はセグメント利益22百万円）となりました。

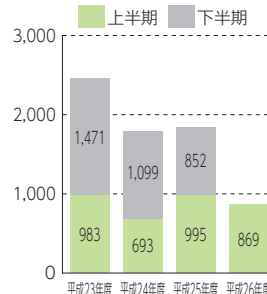
■売上高(連結) (単位:百万円)



完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が減少したことにより、売上高は869百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。収益面においては、原価低減を進めたものの減収による影響等によりセグメント損失は12百万円（前年同四半期はセグメント利益13百万円）となりました。

■売上高(連結) (単位:百万円)



四半期連結財務諸表

Consolidated Quarterly Financial Statements

■ 四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 平成26年9月30日現在	前期末 平成26年3月31日現在	科 目	当第2四半期末 平成26年9月30日現在	前期末 平成26年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	46,469	48,920	流動負債	44,713	46,841
現金及び預金	6,593	8,791	支払手形及び買掛金	14,705	15,140
受取手形及び売掛金	24,829	25,924	電子記録債務	4,406	4,574
商品及び製品	3,021	3,303	短期借入金	6,199	6,676
仕掛品	4,458	4,062	1年内返済予定の長期借入金	9,962	9,848
原材料及び貯蔵品	3,525	3,171	未払法人税等	383	1,526
その他	4,042	3,666	賞与引当金	1,217	1,254
貸倒引当金	△ 1	△ 1	役員賞与引当金	-	28
			製品保証引当金	156	180
固定資産	89,580	88,313	その他	7,681	7,612
有形固定資産	78,561	78,208	固定負債	37,315	35,800
建物及び構築物（純額）	14,617	14,710	長期借入金	27,796	26,490
機械装置及び運搬具（純額）	43,754	40,813	退職給付に係る負債	5,029	4,913
土地	5,259	5,252	その他	4,489	4,396
建設仮勘定	7,116	9,862	負債合計	82,029	82,641
その他（純額）	7,812	7,568			
無形固定資産	1,354	1,340	純資産の部		
投資その他の資産	9,664	8,764	株主資本	48,537	48,851
投資有価証券	6,891	5,964	資本金	6,939	6,939
その他	2,774	2,800	資本剰余金	10,180	10,180
貸倒引当金	△ 0	△ 0	利益剰余金	31,722	32,035
資産合計	136,050	137,233	自己株式	△ 304	△ 304
			その他の包括利益累計額	5,371	5,661
			その他有価証券評価差額金	3,131	2,540
			為替換算調整勘定	2,738	3,660
			退職給付に係る調整累計額	△ 498	△ 539
			新株予約権	111	79
			純資産合計	54,020	54,592
			負債純資産合計	136,050	137,233

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期累計 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前第2四半期累計 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
売 上 高	65,606	58,111
売 上 原 価	60,078	52,571
売 上 総 利 益	5,527	5,539
販売費及び一般管理費	5,048	4,684
営 業 利 益	478	855
営 業 外 収 益	234	442
受 取 利 息	10	6
受 取 配 当 金	70	65
為 替 差 益	0	250
ス ク ラ ッ プ 売 却 益	69	49
そ の 他	83	71
営 業 外 費 用	667	518
支 払 利 息	598	504
そ の 他	68	13
経 常 利 益	45	779
特 別 利 益	20	2,306
固 定 資 産 売 却 益	6	2,286
補 助 金 収 入	14	19
特 別 損 失	62	63
固 定 資 産 除 売 却 損	62	53
投 資 有 価 証 券 売 却 損	-	9
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	3	3,022
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	700	527
法 人 税 等 調 整 額	△ 588	67
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△ 107	2,428
四 半 期 純 利 益 又 は 四 半 期 純 損 失（△）	△ 107	2,428

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期累計 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前第2四半期累計 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,673	5,712
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,412	△ 6,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,670	△ 736
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 129	262
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 2,198	△ 1,403
現金及び現金同等物の期首残高	8,791	6,087
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,593	4,684

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

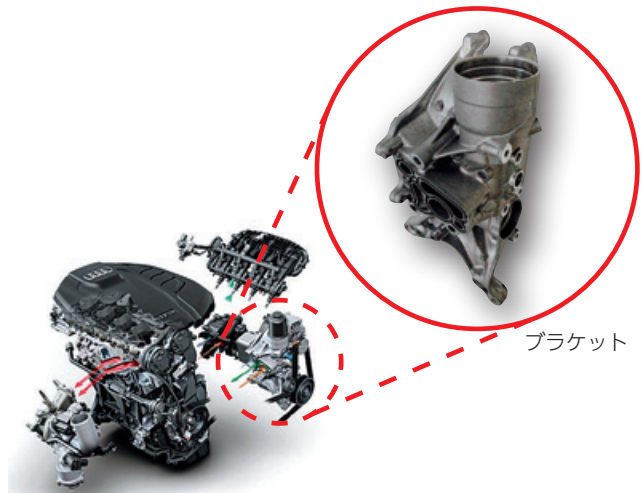
トピックス

Topics

中国子会社が ブラケット量産納入開始

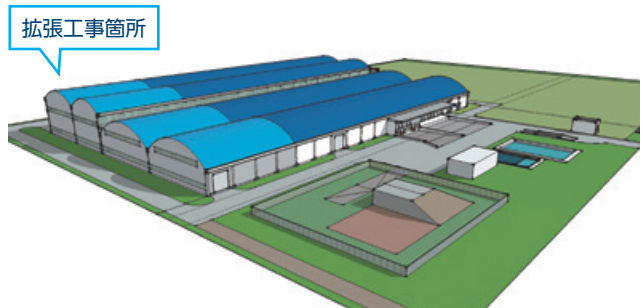
当社子会社である広州阿雷斯提汽车配件有限公司（以下広州アーレスティ）は、フォルクスワーゲングループの中国現地合弁会社へのブラケットの量産納入を6月より開始いたしました。広州アーレスティだけでなく、アーレスティグループ初のフォルクスワーゲングループとの取引開始となります。

今後とも、品質の優れたダイカスト製品を安定的に供給し、より一層お客様のお役に立つよう努めてまいります。



インド工場増築

当社子会社であるAhresty India Private Limitedは新規受注への対応及び能力増強のために、鋳造棟、加工棟及び倉庫の拡張工事を前年9月より進めておりましたが、本年7月竣工いたしました。



メキシコ工場増築

当社子会社であるAhresty Mexicana, S.A. de C.V.は新規受注への対応及び能力増強のために、鋳造棟の増床工事を本年4月より進めておりましたが、9月竣工いたしました。



株式情報・会社の概要・株主メモ

Stock Information・Corporate Information

■株式状況 (平成26年9月30日現在)

● 株式数及び株主数

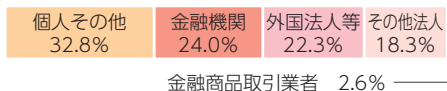
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	26,027,720株
株主数	5,075名

■大株主 (上位10名)

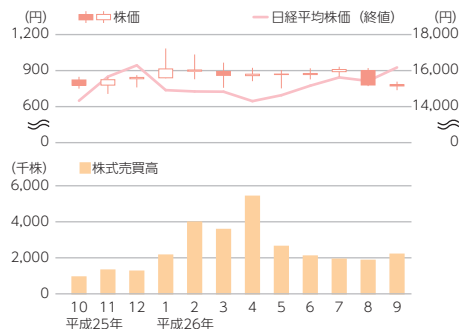
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,641	6.3
高橋新	915	3.5
(株)三菱東京UFJ銀行	765	2.9
本田技研工業(株)	672	2.6
日本軽金属(株)	657	2.5
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LTD - HONG KONG PRIVATE BANKING DIVISION-CLIENT ACCOUNT	647	2.5
MSCO CUSTOMER SECURITIES	647	2.5
ザバンク オブ ニューヨーク - ジャスティック ノン トリーティ アカウト	589	2.2
スズキ(株)	565	2.1
アーレスティ取引先持株会	547	2.1

(注) 1. 株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式(203,336株)を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



■株価・株式売買高の推移



■会社概要 (平成26年9月30日現在)

商号	株式会社 アーレスティ
設立	昭和18年11月2日
資本金	69億3,909万円
従業員数 (単独)	881名

企業集団の従業員の状況

	従業員数
ダイカスト事業日本	2,086名
ダイカスト事業北米	2,435名
ダイカスト事業アジア	2,612名
アルミニウム事業	54名
完成品事業	31名
全社 (共通)	71名
計	7,289名

取締役及び監査役 (平成26年9月30日現在)

代表取締役社長	高橋新	常勤監査役	見目康夫
取締役	石丸博	常勤監査役	古屋茂
取締役	野中賢一	社外監査役	早乙女唯
取締役	蒲生新	社外監査役	志藤昭
社外取締役	原隆		

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)

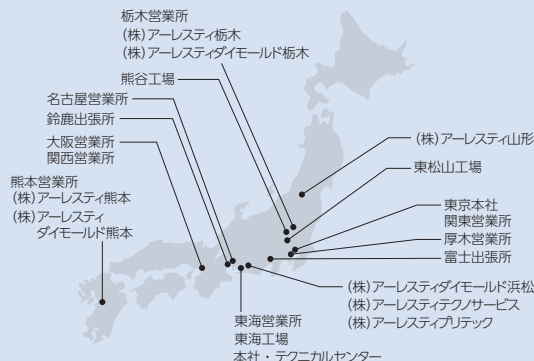
上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <http://www.ahresty.co.jp>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■事業拠点一覧 (平成26年9月30日現在)

国内ネットワーク



海外ネットワーク



当社ホームページ

<http://www.ahresty.co.jp>

当社ホームページの「IR情報」では、株主の皆様へ最新情報をお届けしております。あわせてご覧ください。

Research Service Technology

株式会社 アールスティ

東京本社

〒164-0012 東京都中野区本町2-46-1 中野坂上サンプライトツイン5F
TEL.03-6369-8660 FAX.03-5358-5331

本社 (本店)

〒441-3114 愛知県豊橋市三弥町中原1番2号
TEL.0532-65-2170 FAX.0532-65-2163



ISO14001:2004認証取得

ISO9001:2008認証取得

ISO9001:2008認証取得

本社・テクニカルセンター、東京本社、東海工場、東松山工場、熊谷工場、株式会社アールスティ栃木、株式会社アールスティ熊本、株式会社アールスティ山形、株式会社アールスティアプリテック、株式会社アールスティテクノサービス、株式会社アールスティダイモールド浜松、株式会社アールスティダイモールド熊本、株式会社アールスティダイモールド熊本

本社・テクニカルセンター、東京本社 (但し、商品営業部を除く)、東海工場、東松山工場、熊谷工場、株式会社アールスティ栃木、株式会社アールスティ熊本、株式会社アールスティ山形、株式会社アールスティアプリテック

商品営業部及び関連組織 (品質管理部、経営企画部、ヒューマンリソース部)



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。